



平成31年度施政方針

おきましても行政と民間事業者が協働で取り組む
公民連携、いわゆる「PPP」の手法を検討し、
導入可能な事業につきましては、積極的に取り組
んでまいります。

入札契約制度改革につきましては、計画的な発
注、適正な工期設定及び工事の性格や地域の実情
に応じた適切な入札契約方式を確立することが発
注者の責務となつてていることから、当年度は、工事、
調査及び設計業務の性格等に応じた入札契約方式の導入
を調査・研究し、より適切な入札契約方式の導入
を目指してまいります。

財政の健全化の礎となる市税徴収につきまして
は、「納めやすい環境づくり」の更なる充実を図る
ため、当年度は新たに「地方税共通納税システム」
を導入し、積極的な納期内納付に向けた広報活動
を行うほか、納め忘れるがる未納者を対象に携帯
電話のショートメールを活用した納税勧奨を図り、
更なる自主財源確保に努めてまいります。

納税者が居住している自治体ではなく、ふるさ
とや応援したい自治体へまちづくり支援を目的に
寄附をする「ふるさと納税」につきましては、本
市が抱える様々な課題解決や、より充実した施策
の財源として大変有効となります。本市出身者は
もとより、全国の石垣島ファンの皆様から、まち
づくりに対するご支援を頂くため、より良い返礼品の開発や広報活動の充実に取り組んでまいります。

法定外目的税制度の導入につきましては、近年
の本市への入域観光客数の大幅な増加に伴い、環
境面の負荷や受入体制等における様々な課題が顕
在化しています。これらの課題解消を図るために
施策に対応することを目的とした法定外目的税制
度の導入について検討委員会を設置し、検討をス
タートしました。当年度におきましては、同じく
検討を行っている沖縄県の動向も注視しながら、
導入に向けての更なる議論を重ねてまいります。

職員の人材育成につきましては、石垣市人材育
成基本方針における「求める職員像」を実現する
ため、「石垣市職員研修基本方針」を策定し、より
充実した研修メニューを確立することで、職員が
持つ能力を磨き、組織力の向上を図つてまいります。
8. 予算編成と予算規模

平成31年度予算編成に当たりましては、第4次石垣市総合計画後期基本計画及び実施計画に基
づき、国の地方財政対策等を反映しつつ、限られた予算で最大の効果を發揮し、本市における各種
課題を解決することにより、「日本一幸せあふれる
まち石垣市」を推進する予算編成を行いました。

特徴としましては、歳入におきまして、自主財
源の柱である市税が好調な地域経済を背景に平成
30年度より約2億円の増額を見込む一方、地方
交付税につきましては、平成30年度比1.6%の減額を見込んでおります。歳出では、民生費におきま
して、子ども・子育て支援新制度に基づく認定こども園移行整備及び待機児童解消に向けた保育士確保対策等により、平成30年度比約7億6千万円の増額となつております。また、普通建設事業費が大幅に増加し、過去最大の予算規模となつております。

当年度一般会計の総額は、312億4,169万4千円で、平成30年度当初比17.7%の増となつております。主な内訳としましては、総務費57億4,622万7千円、民生費124億3,370万6千円、衛生費19億2,217万4千円、農林水産業費21億5,991万9千円、商工費5億808万2千円、土木費34億7,772万円、消防費6億4,238万1千円、教育費21億4,502万8千円となつております。

特別会計及び公営企業会計の総額は、182億3,841万9千円で平成30年度当初比4.3%

むすびに

の増となつております。
当年度の市政運営に関し、市民の皆様が未来に
向けて夢や希望を抱き、「日本一幸せあふれるま
ち石垣市」を実現するべく重要な施策を述べ
させていただきました。

今年4月30日に天皇陛下が御退位され、5月1日に皇太子殿下が新天皇として御即位されます。
皇太子殿下の御即位に伴い、31年間続いてきた「平成」から新たな元号に変わるなど、当年度は大きな節目となります。
また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックは、新しい元号のもとで開催されることもあり、これまでにない盛り上がりが期待されるところです。

昭和62年第42回国民体育大会は、「海邦国体」をテーマに沖縄県で開催され、オリンピックの聖火にあたる炬火リレーがここ石垣市でも行われました。島内を児童生徒の手から大人の手へ炬火が繋がれ、炬火リレーを応援しようと沿道には大勢の市民が押し寄せました。その興奮を再び蘇えらせると、2020東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーをここ八重山からスタートできるよう、関係機関に働きかけてまいります。

当年度は、私とりまして、3期目の2年目となりまして、3期目のマニフェストを実現するためには、取組みを加速させる大切な年度となることから、その具現化に向けてしっかりとリーダーシップを発揮し、職員が一つのチームとなつて全力で取り組んでまいります。

むすびに、議員各位を始め市民の皆様のご理解とご協力を引き続き賜りますようお願い申し上げ、私の当年度の施政方針とさせていただきます。